

評価年度

令和 6 年度

1. 基本情報

公の施設名	利府町東部児童館
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
指定期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日
施設設置条例	利府町児童館条例（平成22年8月3日）
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、児童福祉施設として利府町児童館を設置する。
施設概要	・場 所：利府町葉山一丁目3番地1 ・敷地面積：1,526.78㎡ ・建物概要：鉄筋造2階 延床面積 497.75㎡ ・主な施設：遊戯室、集会室、児童クラブ室、乳幼児室、事務室
施設所管課	利府町 保健福祉部 子ども支援課

2. 管理実績(年間)

項目(単位)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
来館者数合計(人)	9,404	9,981			

3. 成果指標の達成度

指標 1

指標名(単位)	年間利用者(来館者)数 (人)
指標式と指標の説明	年間利用者数の増減推移を図るものとする。

項目(単位)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標値(人)	8,000	9,000			
実績値(人)	9,404	9,981			
達成度(%)	117.6%	110.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

評価(5段階)	評価理由
S	昨年度よりも来館者数が増加している。イベントに参加するために来館してくれる人もおり、イベントの充実が来館者数の増加に繋がっていると考えられる。

4. 事業の実施状況

(1) 指定事業

主な事業名	実施時期	内容
児童館事業	4月～3月	以下に、詳細な内容を記載している。
児童クラブ事業	4月～3月	
子育て広場事業	4月～3月	
地域連携事業（児童館事業）		
おもちゃ病院「くまさん」	5・7・9・11・1・3月	おもちゃ病院「くまさん」の方に来ていただき、地域のこどもたちが使っているおもちゃの修理を行っていただいた。
子育てハッピー広場	9・12・1月	乳児検診に合わせて、ミニ子育て広場を子育て支援拠点現場で連携して行い、親子の孤立を減らし、町内の子育て親子の育児を支援した。

(2)提案事業

主な事業名	実施時期	内容
小学生以上対象事業（児童館事業）		
チャレンジランキング	4～3月 (毎月1回)	「簡単なゲームをみんなで楽しみ、競い合う」を目的にイベントを行った。令和6年度は、卓球大会や的あてゲームといったものだけではなく、期間を1～2週間ほど設けて行う折り紙検定やぬりえ選手権も行った。運動やゲームが苦手な子も、自分の得意なことで輝くことができていた。
みんなであそぼう	4～3月 (毎月1回)	「様々な素材に触れつつ、個々のイメージを大切にしながら制作を楽しむ」と「みんなで体を動かして、いろいろな遊びを楽しむ」を目的にイベントを行った。令和6年度は、普段は使うことができない素材を使える大工作祭りやステンドグラス風アートフレーム作りといった制作、モルックやケイドロといった運動を行った。あまりやったことのない遊びや制作を取り入れることで、その後の自由遊びの幅が広がっていた。
こども会議	7月	「こどもたちの考えや想いを聞く機会を作り、こどもたち同士でより良い時間を過ごせるよう環境を整えていく」を目的にイベントを行った。令和6年度は不定期開催とし、こどもたちから要望があった「遊戯室でどうしたらころがしドッチボールができるか」「図書室の使い方について」を議題として会議を行った。
こども企画	9・10月	「こどもたちがやりたい遊びや大会を自分たちで企画運営することで、コミュニケーション能力や主体性を伸ばす」「個々の得意なことを披露できる場を作る」を目的にイベントを行った。令和6年度は不定期開催とし、野球大会やドミノ大会等こどもたちのやりたいが詰まった企画が行われた。
中学生高校生対象事業（児童館事業）		
中高生タイム	4～3月 (毎月1回)	「児童館が居場所として認識されるように、中高生が自由にのびのびと過ごせる時間と場所を確保する」「中高生の興味関心に合わせた視野を広げられる機会の提供や、様々なことに興味をもてる機会を作る」を目的にイベントを行った。「葉山地区に勉強できるところがない」という中学生の声から実現した自習室開放デーや卓球大会等を通して、中高生がのびのびと児童館で過ごす姿が見られた。
中高生ボランティア	4月～3月	「中高生にスタッフ側の仕事を体験してもらい、一緒に施設を盛り上げる仲間という意識を持つ」「中高生の居場所として確立していく」を目的にイベントを行った。ボランティア登録した中学生は、児童館まつり等を一緒に盛り上げてくれ居場所の1つとして活用している姿が見られた。
全来館者対象事業（児童館事業）		
季節イベント	10・12月	「季節に合わせた遊びの提供」「児童館を会場にし、幅広い年代が関わり遊びを楽しむ」を目的にイベントを行った。児童館祭りでは乳幼児と小学生が一緒にハロウィンにちなんだゲームや工作を楽しむ姿が見られた。クリスマス会では、利府中学校の生徒のクリスマス演奏を通して、乳幼児～中高生まで幅広く交流する姿が見られた。
おさがりマルシェ	12月	「各家庭で不要となったものを持ち寄り、子育て中の家庭で有効活用できるようにする」を目的にイベントを行った。当日は、いただいたものがほとんどなくなるくらいの大盛況となった。
児童クラブ事業		
こどもエコクラブ	4・5・7～11・1月	「季節に合わせた野菜などをみんなで育てて、食べ物大切さを知る」「児童館の周りの環境整備や絵画コンクールへの参加を通し、身の回りの環境に興味を持つ」を目的にイベントを行った。令和6年度は、さつまいもを育てるだけではなくリノスにてさつまいも料理をした。また、企業団体の方と連携し、環境について考える教室を開いていただき、それらについて考える良いきっかけとなっていた。
オンラインチャンネル参加	4月～3月 (毎月3～4回)	「Zoomを通して、地域外の仲間との交流を楽しむ」「自分の特技などを発表することを通して、自分に自信をもつ」を目的にイベントを行った。自分の得意なことを披露したり、勝負したりすることで、自分の自信や向上心に繋がっている姿が見られた。また、なかなか会うことができない遠い地域のこどもたちともゲームを通じた交流ができていた。
お誕生会	4～3月 (毎月1回)	「年に1度の誕生日をみんなで喜び、一緒にお祝いをする」を目的にイベントを行った。その月お誕生日を迎えるこどもたちを主役に、みんなで〇×ゲーム等で盛り上がっていた。職員からもお誕生カードの贈呈をしており、少し照れながらも嬉しそうに眺めており、みんなにお祝いされる喜びを感じていた。

子育て広場事業		
幼児クラブ（登録制）	前期 （5月～9月） 後期 （10月～2月）	「同年代のこどもを持つ保護者同士が交流を持ち、親子共に仲間づくりができるよう支援する」「家でも楽しめるふれあい遊びや季節の制作などを親子で一緒に楽しむ」を目的にイベントを行った。令和6年度からクラスを年齢で2つに分けて実施した。2クラス制にすることで、その年齢に合った遊びや工作を提供できた。また、幼児クラブから親子同士の交流が生まれ、イベントがない日でも一緒に子育て広場に遊びに来てくれるようになっていた。
おはなしタイム	4～3月 （毎月1回）	「絵本や紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなど様々な方法での読み聞かせを楽しむ」を目的にイベントを行った。令和6年度は、午前・午後の2回開催としてどの時間にきてもおはなしを楽しめるようにした。
Ohanaサロン	4～3月 （毎月1回）	「子育て中の保護者の悩みに寄り添い、リフレッシュしてもらう」「季節に合わせたイベントを楽しむ」「保護者の方のニーズに合わせた、「食」や「健康」「発達」など子育てにかかわる情報配信を行う」を目的にイベントを行った。令和6年度も、ヨガやベビーマッサージを行いつつ、藍染等の子連れではなかなか行おうのが難しい制作も取り入れていった。
作ってわくわく	4～3月 （毎月1回）	「季節を感じる制作を親子で楽しみ、お子さんの成長を喜ぶ」を目的にイベントを行った。令和6年度もその月にちながカレンダー制作を行い、季節も感じつつ毎月のカレンダーを見ることで、こどもの成長を感じられる制作となっていた。
お誕生会	4～3月 （6月以降は、各子育て広場イベントに盛り込む形で実施した）	「こどもの成長をみんなで喜び、一緒にお祝いする」を目的にイベントを行った。お誕生カードのプレゼントだけではなく、イベント内でお誕生日を迎える親子のインタビューを行うことで、お祝いされる喜びを感じていた。
あそびタイム	4～3月 （毎月1回）	「午後の時間も遊べることを周知する」「幼稚園・保育園終わりでも楽しめるイベントを提供する」を目的にイベントを行った。令和6年度は、4～6歳児も楽しめるように他のイベントよりも少し難易度の上がった制作やゲームを取り入れた。
その他事業		
利用者アンケート	10・3月	「利用者の声を聴くアンケートをとり、利用者のニーズに合った施設運営が出来るようになる」を目的にアンケートを行った。
避難訓練	4・6・8・10～3月	「非常時に備え、職員同士、利用者の皆さんと避難の方法を確認していく」「施設内の安全環境を整備していく」を目的に実施した。火災・地震・不審者を中心に訓練を行った。

(3)自主事業

主な事業名	実施時期	内容
・児童クラブ事業 季節イベント	4・8・12・3月	令和6年度は、4月に「児童館探検」「交通安全教室」、8月に「特別遠足」、12月に「クリスマス会」、3月に「お楽しみ会」を行った。季節に合わせたイベントをみんなで楽しむとともに、公共交通機関を使う経験や真っ暗闇の児童館での探検などの貴重な体験ができた機会の提供となった。
・子育て広場支援事業 水遊び	7・8月	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行い、夏の暑さを和らげるとともに、夏の楽しさを夏の楽しさを知ってもらう場となった。
・地域連携事業 葉山地区夏祭りへの参加	8月	葉山地区で行う夏祭りの開催に合わせて、児童館内にて無料で遊べるゲームや小学生以上を対象にした特別工作を実施した。

評価（5段階）	評価理由
A	令和5年度の反省を活かしたイベント内容の見直し・充実を行い、令和5年度よりもイベントへの参加者が増加していた。また、リピーターも多く利用者からも一定の評価を得た。しかし、提案事業の中で、中高生タイムへの参加が令和5年度よりも減少しており、中高生の居場所づくりとしては課題である。

5. 利用者の満足度

(1)利用者満足度調査

調査手法/回答数	質問紙・Googleフォーム・hugnoteへの回答により実施 【10月】 児童クラブ保護者：26件 児童クラブこども：31件 児童館保護者：10件 児童館こども：10件 【3月】 児童クラブ保護者：19件 児童クラブこども：30件 児童館保護者：3件 児童館こども：10件
目標値の基準	アンケート各項目（自由記述を除く）の「満足」「やや満足」の割合 （令和5年度の目標値の基準「年間2回のアンケートの実施」より変更）

項目(単位)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標値(%)	2.0%	70%			
実績値(%)	1.0%	75.28%			
達成度(%)	50.0%	107.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(2)その他の取り組み

取組事項	時期	内容

評価（5段階）	評価理由
A	利用者からは、一定の評価をいただけている。また、アンケートで記入のあった要望や意見は、令和6年度の下半期・令和7年度の運営に反映させている。特に、こどもたちからは「アンケートに書いたやつがかなった！」という喜びの声も聞こえてきている。

6. 経営状況

(1)施設の収支概要

項目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	予算決算比
収入 (a)	39,360	30,377	-8,983
指定管理料	39,360	30,377	-8,983
利用料金収入	0	0	0
(うち、減免補填額)	0	0	0
事業収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
支出 (b)	39,360	30,377	-8,983
人件費	30,178	26,843	-3,335
事務事業費	3,200	2,062	-1,138
役務費	370	278	-92
使用料/賃借料	396	625	229
維持管理費	250	45	-205
その他の支出	4,966	524	-4,442
収支 (a)-(b)	0	0	0
備考			

(2)指定管理団体(各社)の財務状況

財務状況	健全な財政状況である。
------	-------------

評価 (5 段階)	評価理由
A	年内の指定管理料の範囲内で、適切な支出管理が行えた。

7. 管理業務の履行状況

検査方法	施設定期巡回
実施時期	12か月実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適 正	
危機管理	適 正	
人員配置・地元活用	適 正	
現金管理	適 正	
会計・経理	適 正	
情報セキュリティ	適 正	
情報公開・個人情報保護	適 正	
町への報告事項・事前承認等	適 正	

加点事由	具体的内容
無	

評価（5段階）	評価理由
A	常に、安全管理を行いながら、積極的に各種事業を行っていた。

8. 指定管理者の自己評価（自己アピール）

自己評価点数	令和5年度の反省を活かしたイベント内容の見直し・充実を行い、令和5年度よりもイベントへの参加者が増加していた。また、リピーターも多く利用者からも一定の評価を得た。しかし、提案事業の中で、中高生タイムへの参加が令和5年度よりも減少しており、中高生の居場所づくりの点として課題が残った。
56	
自己総合評価	
A	

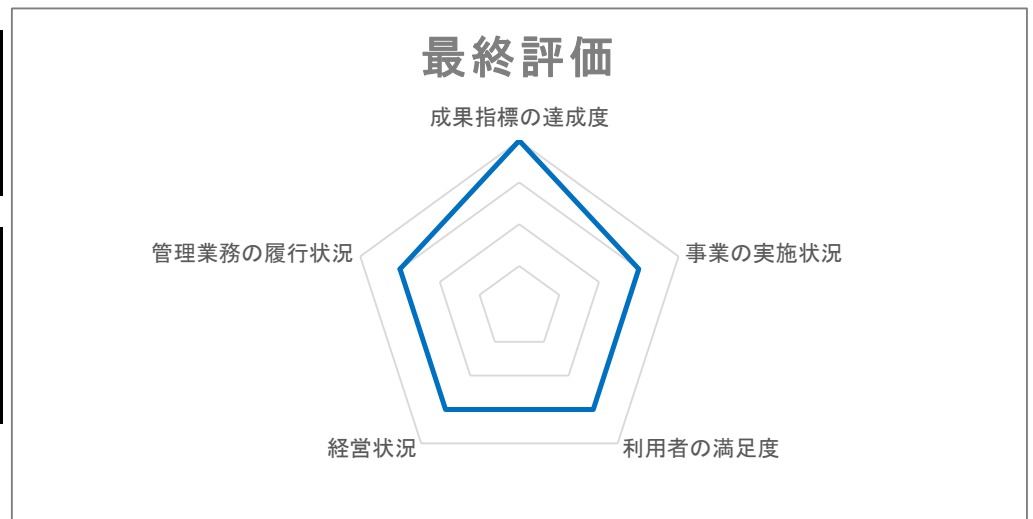
9. 所管課意見

指定管理者2年目になり、地域に密着した運営になってきている。子育て広場は多彩なイベント内容を実施していることから、リピーターも多く、子育て世帯の憩いの場になっていると感じている。特に「おさがりマルシェ」については、西部児童館と連携を図りながら趣向を凝らして実施したことから、参加者増加に繋がっていた。また、前年度よりInstagramを積極的に活用しており、情報発信にも力を入れたことで、児童館の利用者増に繋がった状況であった。

しかしながら、その一方で中高生の利用が少なく、児童館として「第3の居場所づくり」を進めるためにも、中高生へのアプローチの手法等を今一度検討し、利用者増へ繋げてほしい。あわせて、地域交流も町内会のみならず、町内の保育所・幼稚園や高齢者施設等との交流を今まで以上に積極的に行ってほしい。

最終評価

総合点数
80
最終評価
A



1. 事業実施状況

(1) 指定事業 ※各事業の詳細は別添事業報告シートを参照のこと

評価（◎：良い ○：普通 △：不十分）

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
児童館事業	50回	以下に、事業ごとの詳細な報告を記載している。	○	○
児童クラブ事業	12回		○	○
子育て広場事業	70回		○	○
地域連携事業（児童館事業）				
おもちゃ病院「くまさん」	6回	目標値を平均2人設定し、6回実施した。 結果、6回合計で19人参加し、平均約3.2人であった。子育て広場内におもちゃ病院についての掲示を行うとともに、児童クラブでも呼びかけをしたことで、認知度があがっていた。	◎	○
子育てハッピー広場	3回	PR活動を2回、広場の案内係を1回行った。参加者は、その時に検診対象になっている方に向けてのため、目標値の設定はしていない。PR活動を行った際には、紹介した手遊びを、待ち時間の際に親子で遊んでいる姿がたくさん見られた。	◎	◎
評価点			12	11

(2) 提案事業

事業名	計画回数	実施回数等（詳細は別添の事業報告シート）	自己評価	町評価
小学生対象事業（児童館事業）				
チャレンジランキング	6回	目標値を平均10人に設定し、12回実施した。 結果、12回合計で281人参加し、平均約23.4人参加率は234%であった。計画回数よりも多く実施したこと、期間を設けて行うイベントを取り入れたことで、気軽に参加しやすくなったために参加率が上がった。	◎	◎
みんなであそぼう	12回	目標値を平均12人に設定し、12回実施した。 結果、12回合計で197人参加し、平均約16.4人参加率は136%であった。こどもたちの興味関心をアンケートや普段のコミュニケーションから引き出し、イベントに反映させたことで参加率が上がった。	◎	◎
こども会議	不定期	目標値をイベント実施回数6回に設定した。 結果、2回の開催となり、開催率33.3%となった。こどもたちから要望があった際に実施しており、こども会議で決まったルール等で遊びの幅が広がっていた。しかし、なかなか要望が上がらなかったことや要望が上がったときにすぐ実施しようとしたが「遊び時間を削る程ではない」といったこどもたちの考えから実施にまで至らなかった。	△	△
こども企画	不定期	目標値をイベント実施回数5回に設定した。 結果、5回の開催となり、開催率100%となった。目標回数は達成できたが、9・10月に固まって開催されており、他の月での実施が出来なかった。	○	○
中学生高校生対象事業（児童館事業）				
中高生タイム	12回	目標値を平均2人に設定し、31回実施した。 結果、31回合計で19人参加し、平均約0.6人参加率は30%であった。そもそも常に来館がある中高生が2人程度で、平日にたまたま遊びに来てくれていてもイベント日は部活等で参加できないようだった。	△	△
中高生ボランティア受け入れ	随時	児童館祭り・クリスマス会に向けて目標値を2人とし、結果、1人の登録で、参加率は50%であった。児童館祭りにて「オバケ迷路」を一緒に盛り上げてくれたが、年間を通したボランティアの参加率は上がらなかった。	△	△
全来館者対象事業（児童館事業）				
季節イベント	2回	目標値を平均70人に設定し、「児童館祭り」と「クリスマス会」の2回実施した。 結果、2回合計で212人参加し、平均約106人参加率は151%であった。葉山全体にチラシを配ったことに加えて、クリスマス会では利府中学校の生徒によるクリスマス演奏とおはなしばんどらさんをお招きしたことで、幅広い年代が来館したくなるイベントになり、参加率が上がった。	◎	◎
おさがりマルシェ	1回	目標値を15組参加と設定し、実施した。 結果、当日は51組が参加し、参加率は340%であった。また、葉山全体にチラシを配ったことに加えて、おさがりマルシェ前日にどんなおさがり品があるかをインスタグラムにて宣伝したことで参加率が上がった。	◎	◎
児童クラブ事業				
こどもエコクラブ	不定期	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。実施回数は8回であった。昨年度から引き続き、お花や野菜を育てる活動を行った他、作った野菜をリフノスにて調理し、野菜を育てることや料理をすることの楽しさを知ってもらえた。また、企業団体と連携して、環境について考えるイベントを3回実施できた。	◎	◎
オンラインチャンネル参加	45回	目標値を平均3人に設定し、27回実施した。 結果、27回合計で143人が参加し、平均5.3人参加率176%であった。イベントの実施回数が減った要因として、オンラインチャンネルが全国一律の時間で設定されているため、児童館児童クラブ主催のイベントと重なってしまい参加できないことがあった。	△	△
お誕生会	12回	児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。また、令和6年度は毎月お誕生児がいたため、12回実施した。 令和5年度から引き続き行ったイベントだったが、カードのデザインを変えたりと変化をつけることで、さらに楽しんでいる姿が見られた。	◎	◎
子育て広場事業				
幼児クラブ（登録制）	10回	「よちよち」「すくすく」各10組を募集定員とし、前期後期でそれぞれ募集を行った。また、イベントも前期後期でそれぞれ5回、合計10回実施した。前期はどちらも10組の登録、後期は「よちよち」が7組、「すくすく」が10組の登録であった。登録率は92.5%であり、年齢を分けたことでより令和5年度よりも利用しやすくなっていた。	◎	◎

おはなしタイム	12回	毎回の募集定員を10組とし、12回実施した。 結果、内5回が0人の参加であったため、実施率が58%、参加者は7回合計で24組で、平均3.4組参加率は34%であった。おはなしばんどらさんが担当の会は参加者が多く、それ以外は参加者が少なく、偏りも見られた。	△	△
Ohanaサロン	12回	合計実施回数は12回で、内3回は募集定員5組、内9回は募集定員10組として実施した。 結果、募集定員5組に設定したイベントは合計12組が参加し、平均4組参加率80%であった。募集定員10組に設定したイベントは合計47組が参加し、平均5.2組参加率52%であった。保護者のリフレッシュも目的としているイベントのため、保護者が楽しめるイベントもあったが、親子で一緒に楽しめるイベントが一番参加率が上がっていた。	○	○
作ってわくわく	12回	毎回の募集定員を10組とし、12回実施した。 結果、12回合計で81組参加し、平均6.75組参加率68%であった。毎月5組程度の参加はあるものの、募集定員まで達したのは1回しかなかった。	○	○
お誕生会	12回	合計実施回数は2回で、6月以降は各イベントに盛り込む形で実施した。お誕生児であっても、なかなかその日に合わせて来るのが難しいようで、その月でどこか1つのイベントに参加すればお祝いしてもらえるのは、親子にとって参加もしやすいいい記念になっていた。	△	○
あそびタイム	12回	毎回の募集定員を10組とし、12回実施した。内、2回は全来館者対象事業の季節イベント「児童館祭り」と「クリスマス会」と合同で行った。 結果、合同のものを除いた10回合計で43組の参加し、平均4.3組参加率43%であった。午後も子育て広場を利用できることを知ってもらえるイベントだったが、家庭が忙しくなる時間帯とも重なっているため、参加率は伸びなかった。	○	○
その他事業				
利用者アンケート	2回	乳幼児保護者・小学生・中高生・児童クラブ登録児童保護者を対象に、アンケートを2回実施した。	◎	◎
避難訓練	6回	その時の全来館者を対象として行ったため、目標値の設定は行っていない。結果、実施は9回、実施率は150%であった。実施回数が増えたことで、様々な場面を想定した訓練を行った。	◎	◎
評価点			41	42

(3)自主事業

事業名	実施時期	内容・回数・参加者等
・児童クラブ事業 季節イベント	4・8・12・3月	令和6年度は、4月に「児童館探検」「交通安全教室」、8月に「特別遠足」、12月に「クリスマス会」、3月に「お楽しみ会」を行った。児童クラブ登録児童は全員参加のため、目標値の設定はしていない。参加者は季節に合わせたイベントをみんなで楽しむとともに、公共交通機関を使う経験や真っ暗闇の児童館での探検などの貴重な体験ができた機会の提供となった。
・子育て広場支援事業 水遊び	7・8月	施設の外にあるテラスを活用し、テラスの下で水遊びを行った。実施は、7・8月の午前とし、希望がある場合に実施した。合計12組の親子が参加し、家庭では準備が大変な水遊びが気軽にできるとのことで、幅広い年齢の乳幼児さんが利用してくれた。
・地域連携事業 葉山地区夏祭りへの参加	8月	葉山地区で行う夏祭りの開催に合わせて、児童館内にて無料で遊べるゲームや小学生以上を対象にした特別工作を実施した。当日は、49名の参加があり、児童館内で涼みつつ一緒に葉山地区の夏祭りを盛り上げることができた。

着 色 セ ル の 事 業 数 の み 入 力	自己評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	5	10	12
	提案事業	19	38	41
	自主事業	3		3
	合計	27	48	56
	町評価集計	事業数	基礎点	実績点
	指定事業	5	10	11
	提案事業	19	38	42
	自主事業	3		3
	合計	27	48	56

2. 事業の実施状況総合評価

自己評価（５段階）	自己評価理由	評価（％）
A	令和5年度の反省を活かしたイベント内容の見直し・充実を行い、令和5年度よりもイベントへの参加者が増加していた。また、リピーターも多く利用者からも一定の評価を得た。しかし、提案事業の中で、中高生タイムへの参加が令和5年度よりも減少しており、中高生の居場所づくりの点として課題が残った。	117%

町評価（５段階）	町評価理由	評価（％）
A	指定管理者２年目になり、地域に密着した運営になってきている。子育て広場は多彩なイベント内容を実施していることから、リピーターも多く、子育て世帯の憩いの場になっていると感じている。特に「おさがりマルシェ」については、西部児童館と連携を図りながら趣向を凝らして実施したことから、参加者増加に繋がっていた。また、前年度よりInstagramを積極的に活用しており、情報発信にも力を入れたことで、児童館の利用者増に繋がった状況であった。 しかしながら、その一方で中高生の利用が少なく、児童館として「第３の居場所づくりを進めるためにも、中高生へのアプローチの手法等を今一度検討し、利用者増へ繋げてほしい。あわせて、地域交流も町内会のみならず、町内の保育所・幼稚園や高齢者施設等との交流を今まで以上に積極的に行ってほしい。	117%

評価年度	令和 6 年度
------	---------

●経営状況

(1)施設の収支概要

単位：千円

項目	前年度予算	今年度決算	予算決算比
収入 (a)	39,240	39,360	120
指定管理料	39,240	39,360	120
利用料金収入	0	0	0
(うち、減免補填額)	0	0	0
事業収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
支出 (b)	39,240	39,360	120
人件費	29,904	30,178	274
事務事業費	3,200	3,200	0
役務費	370	370	0
使用料/賃借料	396	396	0
維持管理費	324	250	-74
その他の支出	5,046	4,966	-80
収支 (a)-(b)	0	0	0
備 考			